

松江小だより

E-mail: matue2es@mctv.ne.jp

TEL:0598-21-0781/Fax: 0598-21-8215

◎H27 全国学力学習状況調査の結果と今後の学力向上に向けての取り組みを報告します。

4月21日に6年生が実施した全国学力学習状況調査の結果は、国語A・B、算数A・B、理科ともに全国平均を上回りました。特に国語Bは全国平均よりも6.0点、算数Aは4.7点も上回ることができました。

昨年度は、国語・算数のみの実施でしたが、ともに全国平均を少し下回ってしまいました。そのことを反省し、松江小児童の強み・弱みを全教職員で検討・把握し、教職員には研修と授業改善、保護者の方には家庭学習の定着と読書活動の推進に協力していただきました。今年度はよい結果となりましたが、全国学力・学習状況調査については、限られた教科・分野からの出題であり、この調査によってはかられるのは、「学力の一部」にしか過ぎません。今後、さらに学校と保護者が協力しながら、子どもたちの学力向上に向けて、共に取り組んでいきたいと考えていますので、よろしくお願いします。

○分析から見えてきた成果

- ①国語A・算数Aの問題については、市教委が示す課題把握の基準に該当する問題は一つもなかった。(知識に関する設問については、概ね良好であった。)
- ②読書活動の取り組みによって、文章を読むことが増え、内容を読み取り理解する問題や漢字の読み書きの問題の正答率が高くなった。
- ③学力学習状況調査の過去問に取り組んでいたため、問題慣れしたことと、最後まであきらめずに考えることを指導したため、無回答率が少なくなった。

○本校児童の課題となった問題

国語

- ①物語全体の内容や構成・展開を把握した上で、登場人物の気持ちの変化を想像しながら声に出して読むときの工夫とその理由を指定された字数の範囲で書く問題

算数

- ①図形の知識及び技能を活用して、示された二組の道のりが、それぞれ等しくなることを書く問題
- ②20%増量した商品の内容量が480mLであるとき、増量前の内容量を求める式と答えを書く問題
- ③図形の性質を活用して、合同な二つの三角形を巻き尺でつくったときに②の角が30°になるわけを書く問題
- ④概数や概算を活用して、目的に応じて見積もり方を選択し、目標に達するには12月に3000個のキャップを集めればよいわけを書く問題



- ⑤長方形の面積を2等分する考えを基に、示された図において、分割された二つの図形の面積が等しくなるわけを書く問題
- ⑥示された図形の色がついた部分の面積を求める問題

理科

- ①顕微鏡の適切な操作方法が身に付いているかを確認する問題
- ②水の温まり方について、自分の予想と実験から得られた結果を照らし合わせ、より適切な考えに修正していく問題

〇つまずきの多かった問題から見えてくる本校の課題

【国語】

- ①文章全体から内容や構成を把握し、自分の考えを条件に合わせて書くこと

【算数】

- ①割合・百分率、概数・四捨五入、図形の性質の理解
- ②図・表・言葉などを使って、話したり書いたりして説明する力
- ③日常生活の事象の解決に、習った事を活用していく力
- ④学んだことをもとに発展的に考察し、条件を変えても活用できる力

【理科】

- ①予想と実験から得られた結果から、自分の考えを適切に修正していく力

〇今後の取り組み

【授業改善】

- ①授業の始めに「めあて」を提示し、子どもたちに何を勉強するのか見とおしを持たせる。また、授業の終わりに「振り返り」をさせ、自分の考えや勉強して分かったことを書く活動に取り組む。
- ②学級やグループで課題を立て、その解決に向けて情報を集めたり話し合ったりする機会を設定し、みんなの前で発表する経験を多く積ませていく。

【朝のチャレンジタイム、家庭学習、授業、補充・補修学習】

- ①漢字・計算などの反復練習をし、基礎基本の定着を図る。
- ②学力学習状況調査の過去問や学 Viva セットなどの県教委作成のワークシートに取り組み、活用力を育む。

【家庭との連携】

- ①家庭学習・読書活動の推進に取り組むため、生活チェックシート等で定期的に状況把握をしていく。

【教育課程の見直し】

- ①学力向上に向けた授業時数の増加を図るため、学校行事や総合的な学習の時間の精選を進めていく。



今年度は、よい結果を得ることができましたが、まだまだ課題が多いのも事実です。今後は調査結果だけにこだわることなく、子どもたちが「わかった」「できるようになった」と実感し、学ぶ楽しさとわかる喜びに満ちた学校の実現をめざして、教育活動に取り組んでいきたいと考えています。